

# くらしと福祉・憲法を守るため 今年も大いに頑張ります

## 羽田新飛行経路案の**説明会開催**を求める

羽田空港の新飛行経路案についての説明会が、一〇月に高輪区民センターで行われました。国交省は「説明会でなく情報提供の場」と主張し、住民が心配している騒音や落下物などの質問をしても、まともに答えず一時間半程度で打ち切りました。

区民は、新飛行経路案でどんな影響を受けるか真剣に考えており、国交省は正面から答える責任があります。

党区議団は、①高輪地域の説明会の速やかな実施。質問に正面から答えること。説明会の設定は、平日の夜や土曜日の午後実施することを、国交省に強く要求すること。②高輪地域以外の区内各地の説明会も、同じ立場で速やかに実施するよう強く要求せよと質問しました。

区長は①高輪地区の要望を踏まえ、国交省に丁寧な説明の場の開催を求める。質問された趣旨の回答がされるよう要望する。②高輪地区以外では、一二月に赤坂地区で説明会を実施するよう調整している。他の地区も要望を踏まえ、



## 赤門(芝大門)80年記念事業と 特別展を提案 実施へ動く

二〇一七年は赤門(芝大門)の竣工から八〇年です。共産党議員団は、区議会本会議で、八〇周年記念事業と、特別展の開催を提案しました。

教育委員会は、大門の歴史に関する資料作成について、江戸時代の浮世絵、明治から大正にかけての版画などの絵画資料他を収集している。今後、歴史研究者等を交え調査・研究を行い、資料にまとめ積極的に周知する。と答えました。

特別展の開催についても、所有者である増上寺や関連資料の所蔵機関と協議を行い、開催方法等を含め検討していく。と答え実現に大きく動きました。

説明会実施を強く求めると答弁しました。

### 都心への経路変更中止を求める

共産党都議団と関連区の区議団は、十一月に国交相あてに計画の中止を要請しました。①計画を中止し、来年度予算の要求を行わない。②七月の機能強化に関する「協議会」で関係自治体が「了承した」とする発言は撤回し改める。③説明会は教室型で行い、住民との協議

の場を設ける。全戸配布などで周知し、民主的運営に努める、ことなどを求めました。



## 学校給食、高騰した野菜購入費の財政支援を

党区議団は、11月7日、教育長に対し、野菜の高騰の影響で、食材購入に影響が出ないよう、現場の意見をよく聞いて、臨時的な措置として、購入費用を支援するよう、申入れしました。また、11月24日の本会議・代表質問でも質問しました。

学校給食の現場では、安い食材に変更するなどやりくりしています。教育委員会が臨時的措置として野菜購入費の助成をするよう求めました。

教育長は、「学校栄養士などの意見を十分聞くとともに、児童・生徒の望ましい栄養摂取を第一に考え、食材価格の動向を注視し、適切に対応する」と答えました。



## (仮称)五色橋保育室・学童クラブが開設 今年6月開設予定

二〇一七年六月開園予定の(仮称)五色橋保育室と学童クラブ設置のための補正予算が提案され全会派一致で可決されました。保育室の定員は一〇〇名ですが初年度は〇才から二才までの三八名でスタートする予定です。

待機児問題は深刻です。今年四月の待機児六四名が一〇月には二〇一名と大幅に増えています。

待機児の解消には一歩前進ですが、民間ビルの二室で園庭がない、幹線道路と高速道路の脇で、保育環境の課題があります。保育環境の確保と安全対策を求めました。

港南地域の学童クラブの需要も高まっています。学童クラブは同じビルの二階で定員二〇〇名です。初年度は二二〇名でスタート。次年度以降は港南地域の学童クラブ需要に合わせて定員が見直されます。





安倍政権の暴走政治に終止符を打つための野党共闘をさらにすすめます

## 福島自主避難者支援

# 自民・公明などが請願否決

原発事故によって、自主避難している方が「被災者の声を聞き、住宅支援の継続と実りある支援を求める請願」を提出しました。

国と福島県は、避難区域が解除になった地域は来年三月末で住宅支援を打ち切る方針です。請願者は、避難区域が解除されても放射能の不安があり、家屋が荒廃したりで、帰りたくても帰れないと、支援の継続を訴えました。

共産党委員は、支援の打ち切りでは暮らしが立ち行かないと主張し、採択を要求。

しかし、自民、みなど政策会議、公明、港区民と歩む会が請願を否決してしまいました。



## 段ボールベッドの 備蓄と業界との災害協定を

震災初期、多くの避難所は、土足で入る体育館などに雑魚寝状態です。ほこりが立ち、隣を気にして寝返りも打てない状況です。

段ボールベッドは、①組み立てが簡単。②空気の層でできているので温かい。③昼間は椅子代わりに使える。④収納に使える。⑤避難所から自宅に戻る際も使える。など優れたものです。各避難所に一定の台数を備蓄すること。党区議団は、簡易ベッドの拡充と合わせて、段ボールベッドの導入を提案。段ボールの業界と防災協定を結び、災害時すぐ確保できるように質問しました。

区長は、ダンボール業界との災害協定の締結も視野に入れ、検討していくと答えました。

## 4月実施 客引き防止条例 共産党は 事前の周知徹底と 一大キャンペーンを提案

客引き防止条例が可決されました。新橋、赤坂、六本木などで悪質な客引きも増えています。条例では、客引き行為を無くすために、客引き行為を禁止し、違反した者に中止の指導や勧告、命令し、それでも従わない場合には、五万円以下の過料に処すことにしています。共産党委員は、事前の周知徹底が決定的に大事だ。客引きができないことを事業者に徹底してほしい。「一万枚のチラシをつくって配布する」との区の説明に対して、一万枚では少ないので、追加の印刷も求めました。一大キャンペーンもあって、客引きを無くしようという提案をしました。条例は全会一致で決定されました。四月一日から実施されます。

## 新郷土資料館新設へ一歩進む



文化財の価値が高い  
旧国立公衆衛生院が郷土資料館となる

区議会に、郷土資料館をつくるための展示パネルや映像システムなどの製造物契約の議案が出され、全会一致で可決しました。これで新郷土資料館設置へ一歩前に進むことになります。

共産党委員は、長年にわたって使用するものなので、材料や質を確保するべきだと主張しました。

### 就学援助制度

#### 就学準備金を2月に支給 共産党は以前から要求

中学生の保護者を対象とした就学援助制度の「入学準備金」は、入学後の7月に支給されてきました。これでは準備に間に合いません。共産党区議団は、入学前に制服や学用品の購入にあてられるよう、ずっと求めてきました。これが実を結び、今年から2月に支給されます。

迎春

困ったときは  
すぐ相談を  
区議会議員が  
ご相談に応じます



**大滝 実**  
区民文教常任委員/エレベーター等対策委員会副委員長/東京オリンピック・パラリンピック対策委員/議会運営委員



**いのくま 正一**  
総務常任委員 / 交通・環境等対策委員会副委員長 / 議員団幹事長



**風見 利男**  
建設常任委員会副委員長/行財政等対策委員/議員団副幹事長



**熊田 ちづ子**  
保健福祉常任委員長/交通・環境等対策委員/議員団長